



れんげそう

令和 8 年 8 月 27 日
福 生 第 五 小 学 校
学 校 通 信 第 590 号

2 学期のスタートにあたって

校 長 鈴 木 輝

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。久しぶりに会った子どもたちの表情からは、家族との時間を楽しんだことや、様々な体験を通して充実した夏休みを過ごしたことがうかがえ、大変うれしく思います。

夏休みに入る前、子どもたちに「自分なりの目標を決め、その達成に向けて努力してほしい。」と話しました。学習や運動、読書やお手伝いなど、それぞれが自分の目標に向かって取り組んだことと思います。目標どおりにいったこともあれば、思うように進まなかったこともあったかもしれません。しかし、大切なのは目標をもち、その実現に向けて挑戦したことです。一人一人が自分なりに頑張ることができた夏休みだったのではないのでしょうか。

さて、2 学期は 1 年間で最も長い学期です。学習発表会をはじめ、多くの行事が予定されています。行事を通して成長することはもちろんですが、日々の学習や生活の積み重ねも大切です。目標をもって取り組み、その成果や課題を振り返りながら次につなげていくことで、さらに大きく成長することができます。

子どもたち一人一人が自分の力を発揮し、充実した 2 学期を過ごせるよう、教職員一同力を合わせて支援してまいります。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

デジタルとアナログのよさを生かして

教務主任 荒井 一聴

本校では、タブレット型端末を授業や宿題など、様々な場面で活用しています。写真や動画を使って分かりやすく伝えたり、友達の考えを共有したり、必要な情報をすぐに調べたりできることは、デジタルならではの良さです。

一方、ノートに自分の手で書く、実物に触れる、友達と顔を合わせて話す、繰り返し練習することにも大切な良さがあります。手を動かしながらじっくり考えたり、相手の表情を見ながら思いを伝えたりする経験は、デジタルでは得られないものです。

デジタルとアナログの良さを生かし、学ぶ目的に応じて使い分ける。そんな学びを大切にしながら、子どもたちの未来を切り拓く力を育んでいきます。